

後期基本計画 平成31年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 03 河川砂防・雨水排除施設の整備

施 策 : 01 安全安心な雨水排除施設の整備

| | |
|-----------------|----------------|
| 施策担当職・氏名 | 河川課 総括主査 五十嵐 淳 |
|-----------------|----------------|

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・大雨災害に強い、安心できる河川や排水路の整備、管理を目指します。 ・自然と共生し、潤いと安らぎのある水辺空間の創造が出来ている状態を目指します。 ・都市化の進展により雨水の流出量が増加してきており、また最近は、異常気象等によると思われる局地的な集中豪雨で浸水などの被害が多発する傾向にあることから、これらの浸水被害が過去に発生した箇所あるいは今後新たに被害の恐れのある地域について雨水排水施設が整備推進されることで、住民の安全安心な暮らしの確保が図られている状態を目指します。 |
|--|---|

(2) 施策目標値の達成状況

| No | この施策に関わる施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|----------------|--------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成34年度 | 進捗率(%) |
| | 単 位 | | | | | | | |
| | 単 位 | | | | | | | |
| | 単 位 | | | | | | | |

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

| No | 事務事業名 事務事業目標指標 | 推 移 | 平成29年度 | 平成30年度 (見込) | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 4 年 後 |
|----|--|-------|--------|----------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 1 | 1349 河川維持管理事業 河川愛護団体の組織化数 | 目 標 値 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| | | 実 績 | 7 | 7 | - | - | - | - | - |
| 2 | 9511 外山地内排水路改修事業 事業費による換算延長(年度事業費/総事業費×総延長) | 目 標 値 | 42 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 実 績 | 42 | 0 | - | - | - | - | - |
| 3 | 10618 仁沢瀬川外治水対策事業 補助事業決定までの進捗率 | 目 標 値 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 実 績 | 100 | 0 | - | - | - | - | - |
| | 単 位 | 目 標 値 | | | | | | | |
| | | 実 績 | | | | | | | |
| | 単 位 | 目 標 値 | | | | | | | |
| | | 実 績 | | | | | | | |

後期基本計画 平成31年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 03 河川砂防・雨水排除施設の整備

施 策 : 01 安全安心な雨水排除施設の整備

施策担当職・氏名 河川課 総括主査 五十嵐 淳

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

- ・一級河川の県施行木賊川遊水地の整備については、用地買収を概ね終え平成27年度から工事着手されています。
- ・越前堰水路（小岩井地区）について、H27年度に準用河川の指定（仁沢瀬川）を受け、改修事業を進めていきます。
- ・住宅地の中に自然に近い形の水環境がある本市では、災害防止のための草刈、伐採、浚渫などを重点的に行う必要がありますが、7団体（自治会等）の協力を得て河川の除草を実施しています。
- ・市街地内の雨水排水については下水道事業による浸水対策工事を進めており、市内河川については、災害復旧事業や地域経営推進事業のほか、早期対応が必要な箇所維持修繕工事を行っています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

局地的な集中豪雨の頻発、山林荒廃、都市の舗装化等によると思われる河川の短時間増水が発生し、従来の自然河道の浸食や法面崩落が目だって見られます。

(3) 基本施策との関連性

- ・施策の安全安心な雨水排除施設の整備は、基本施策の実現において土砂災害防止などにも関連する主要な取組となっています。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・市内の河川・水路について、浸水対策にかかる施設整備計画の策定を進めるとともに、河川事業も含めた総合的な治水対策の観点から下水道事業の全体計画の見直しを行い、効率的な事業を進めていきます。
- ・河川環境の保全に対する市民の意識の醸成を図るため、情報提供や市民との対話の機会を設けるとともに、浸水対策修繕工事を含めた河川の適正な維持管理を継続していきます。
- ・地域協働による河川維持等への取り組み
- ・準用河川仁沢瀬川改修の実施
- ・河川台帳の整備（準用河川および普通河川）
- ・下水道事業（雨水）による浸水対策事業の実施
- ・菓子川整備計画の検討

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成31年度の重点課題

- ・浸水対策修繕工事を含めた河川の適正な維持管理を推進します。
- ・地域経営推進事業など特定財源に係る事業の継続推進に努めます。
- ・河川事業および下水道事業（雨水）の効率的な事業推進を図ります。

(3) 基本計画内方針及び平成31年度重点課題に基づく優先順位の考え方

河川の適正な維持管理など短期的緊急的な取り組みを第一に優先し、その他多大な時間と費用を必要とする浸水対策事業について、想定浸水被害規模や財源確保状況を勘案しながら計画的に進めるものとします。

